

市立三次中央病院建替基本設計業務の
委託候補者選定結果報告書

1 選定結果

市立三次中央病院建替基本設計の委託候補者選定について、公募型プロポーザルを実施した結果、次のとおり、最優秀者と優秀者を特定しました。

| | |
|------|-------------------|
| 最優秀者 | 株式会社山下設計 関西支社 |
| 優秀者 | 株式会社内藤建築事務所 広島事務所 |

2 審査経過等

(1) 審査委員会

副市長及び外部委員, 行政職員, 病院長, 及び病院職員で構成する「市立三次中央病院建替基本設計業務プロポーザル審査委員会」(以下, 「審査委員会」という。)を設置し, 技術提案書の審査を行いました。

[審査委員会委員(順不同・敬称略)]

| 委員区分 | 氏名 | 役職 |
|------|------|-----------------------|
| 委員長 | 細美 健 | 三次市 副市長 |
| 委員 | 堂本昌二 | 三次市 副市長 |
| 委員 | 桑田秀剛 | 三次市 総務部長 |
| 委員 | 笹岡潔史 | 三次市 経営企画部長 |
| 委員 | 加藤伸司 | 三次市 建設部長 |
| 委員 | 立花周治 | 三次市 福祉保健部長 |
| 委員 | 浅原利正 | 広島県参与(医療担当) |
| 委員 | 田中貴宏 | 広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授 |
| 委員 | 永澤 昌 | 市立三次中央病院 病院長 |
| 委員 | 立本直邦 | 市立三次中央病院 副院長 |
| 委員 | 田中幸一 | 市立三次中央病院 副院長 |
| 委員 | 丸山 聡 | 市立三次中央病院 診療技術部長 |
| 委員 | 阿川純子 | 市立三次中央病院 看護部長 |

(2) 審査概要

2者から提出された技術提案書を審査し、委託候補者の特定（最優秀者1者及び優秀者1者）を行いました。

[審査経過]

| 日程 | 項目 | 内容等 |
|------------|---------------|----------------|
| 令和6年1月15日 | 第1回審査委員会 | 審査基準・スケジュールの決定 |
| 令和6年1月19日 | プロポーザルの公告 | |
| 令和6年2月6日 | 参加表明書の提出期限 | |
| 令和6年2月9日 | 参加資格確認結果の通知 | |
| 令和6年3月15日 | 技術提案書の提出期限 | |
| 令和6年3月25日 | 第2回審査委員会 | 審査方法の確認等 |
| 令和6年3月25日 | ヒアリング | |
| 令和6年3月25日 | 第3回審査委員会 | 審査, 特定 |
| 令和6年4月上旬予定 | 業務委託契約締結 (予定) | |

3 審査の講評

(1) 総評

今回のプロポーザルは、市立三次中央病院建替基本設計業務を委託するに当たり、優れた創造力、技術力及びスケジュール・コスト管理能力等を有し、確実かつスムーズに本業務を進めていくことのできる設計者から技術提案を求めたものでした。

審査に当たっては、業務の実施方針、評価テーマの「患者にやさしい病院」、「スタッフにやさしい病院」、「環境にやさしい病院」、「建築コスト及びランニングコストについて」、「病院の各種スタッフの意見集約と合意形成の手法・手段について」に対する技術提案書の審査やヒアリングの内容に加え、ヒアリングにおける人物評価や本業務の見積価格も考慮した総合的な評価を行いました。

(2) 最優秀者

最優秀者の提案は、評価テーマに対する技術提案の的確性、独創性、実現性において優れている点が高く評価されました。

具体的には、病室へのアクセスの容易さ、見通しのよい病室配置、安全性の高い病室レイアウトなど医療安全の向上と優れた療養環境を両立している点で患者に優しい病院をめざした提案として評価されました。

また、スタッフに優しい病院の面では、動線が短く、限られた人数でも全個室の入口が見通せる病棟の平面計画であることも優れた提案とされました。

加えて、ヒアリング時の質疑応対についても、コスト感について定量的な説明があり、担当者評価としても高い評価を得ました。

(3) 優秀者

優秀者の低層階の部門配置は各委員において、高い評価を得ました。

一方、病棟のスタッフステーションが細長いオープンスペースであり、器材室等のバックスペースが十分に確保できていないのではないかという意見がありました。病院の骨格である病棟構成について、課題があるという意見でした。